

石油化学工業協会における自主行動計画(2016年度)

＜産業保安の取り組み＞

(1) 会員企業の取り組み状況

① 企業経営者の産業保安に対するコミットメント

- 全会員企業のトップは、保安に関する基本理念・基本方針を定め、「安全はすべてに優先する」「コンプライアンスの遵守」などの意思を常に示すとともに、基本方針等に関するメッセージを従業員、地域社会等に向けて確実に発信する。また保安への適切な資源配分についても確実に行う。

② 産業保安に関する目標設定

- 平成28年度においても昨年度と同様に「重大事故ゼロ(保安事故+労働災害)」を目標とする。

③ 産業保安のための施策の実施計画の策定

- 三重大事故の解析から得られた課題(リスクアセスメント、事故情報の活用、技術的背景の伝承)への対策および保安の基盤強化に対する施策を織り込んだ計画を策定する。特に、保安の基盤強化については(1)保温材下の外面腐食対策として、会員各社によるWGにて腐食部位を確実に予測するための技術検討、(2)CSR報告書、地域住民との対話等を通じてリスクコミュニケーションの推進、を図る。

石油化学工業協会における自主行動計画(2016年度)

(1) 会員企業の取り組み状況(続き)

④ 目標の達成状況や施策の実施状況についての調査及び評価

- 全会員会社は、年度毎に目標の達成状況や施策の実施状況を具体的に確認し、次年度の計画に反映させる。

⑤ 自主保安活動の促進に向けた取り組み

- 保安の向上に地道に努力する従業員やその取り組みを評価し、自主保安活動の促進及び安全文化の醸成を図る。

石油化学工業協会における自主行動計画(2016年度)

(2) 業界団体の取り組み状況

① 業界内外で発生した事故の原因や教訓の共有

- 昨年度と同様に、安全文化の8軸の一つである「学習伝承」における「事故情報の共有化」として実施する。会員企業で発生した事故1件ごとにWGにて、分かりやすくかつ他社に有用な情報にする観点から検討を行い、情報の質を図ったうえで情報を共有化する。重大事故(潜在含む)については、協会内の委員会等で説明会を行い情報の共有化を徹底する。また、石油連盟との事故情報相互共有も継続する。

② 産業保安に必要と考えられる能力について企業が実施する教育訓練の支援

- 昨年度と同様に、安全文化の8軸の「学習伝承」における「経験の共有化」及び「取り組みの共有化」として実施する。経験の共有化では、事故事例の巡回セミナーを2回、取り組みの共有化では、保安研究会にて互いの保安向上に関する情報交換および危険認識能力の向上を実施する予定。また、保安の基盤強化の一つとして、石化協・石連・日化協の3団体共催による「産業安全塾」を開催して、保安・安全の向上に関する専門家の育成教育の強化に取り組む。

石油化学工業協会における自主行動計画(2016年度)

(2) 業界団体の取り組み状況(続き)

③企業の産業保安活動に関するベストプラクティスの共有

- 安全文化の8軸の「学習伝承」の「取り組みの共有化」および「動機付け」として実施する。各社のベストプラクティスを保安推進会議にて共有化。また、保安活動への動機付けの機会として、優秀な安全成績を上げた現場の職長クラスなどを対象に、石油化学工業会保安表彰式を実施する。

④企業が実施する安全文化の向上に向けた取り組みの支援

- 協会では、安全文化を構成する8軸の中で会員が単独で行うより、協会で共同して行う方が大きな効果の得られる「学習伝承」と「動機づけ」に加え、昨年に引き続き経営層の保安への関与の強化として、現場に最も近い経営層である事業所長の保安に関する意見交換を実施予定。